



The 56th Annual Meeting of the Japanese Society of Child Neurology  
第56回日本小児神経学会学術集会

# 免疫能に配慮した 重症心身障碍児(者)の 経腸栄養管理

日時

2014年5月30日(金)  
19:00~20:00

会場

第7会場  
オークラアクトシティホテル浜松  
チェルシーⅡ

〒430-7733 静岡県浜松市中区板屋町111-2

座長

島田療育センターはちおうじ 所長

小沢 浩 先生

演者

久留米大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授

田中 芳明 先生

## 免疫能に配慮した 重症心身障碍児(者)の経腸栄養管理

久留米大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授

**田中 芳明** 先生

重症心身障碍児(者)の病態は個々により多様であり、栄養管理に難渋することが多くみられます。低栄養からの免疫能低下、嚥下障害による誤嚥や長期経腸栄養管理による感染症リスクの多さなど、様々な栄養障害リスクにさらされています。このため、重症心身障碍児(者)が療養する病院・施設・ご家庭では、重大な事態を招かないよう、感染予防に細心の注意を払うとともに、特に経腸栄養での管理時には、誤嚥予防や免疫能向上を考慮した投与方法および適切な製品選びが大切と考えます。

まず、投与方法とそれに応じた製品については各症例の状態に応じて、経鼻胃管、胃瘻、経小腸など投与経路を適切に選択すること、製品としては逆流による誤嚥防止が期待できる、胃排出の速い「消化態栄養」、10,000Pa・s以上の粘度を持った「半固形栄養」を使用するなど、その物理的機能、生理的機能の両方に着目した選択が有用といえます。

また、免疫能向上に関しては、『栄養成分による免疫能向上』、『腸管免疫向上』の二つの要素が考えられます。『栄養成分による免疫能向上』については、免疫栄養成分である「EPA/DHA」や「アルギニン」を配合された製品を使用することや、乳タンパクの一種である乳清(ホエイ)成分を豊富に配合した製品を使用することも考慮します。『腸管免疫向上』に関しても、かつてはプロバイオティクス、プレバイオティクスのサプリメントを足すなどして管理されていましたが、近年では、臨床での有用性が明らかな水溶性食物繊維PHGG(グアーガム加水分解物)があらかじめ配合された経腸栄養製品が登場して、管理が一気に容易になってきています。

今回の講演では、重症心身障碍児(者)の栄養管理について、感染予防を考慮した経腸栄養管理の基礎を述べると共に、数ある製品の中から免疫能向上に効果が期待できるいくつかの製品について、実際の臨床使用における有用性をご紹介しながら、その特徴について概説したいと考えています。